

**誰** ハンドinハンド高知大会  
でも安心して乗れるヨットで海へ!

香南市マリンスポーツ施設が管理している障害のある人でも安全に乗れるバリアフリーヨット『ハンザクラス』を8艇使い、9月20日(日)「ハンドinハンド高知大会」が同施設で開催されました。

市社会福祉協議会、地域活動支援センター『あけぼの』、高知大学ヨット部なども運営スタッフとして大会を支援。障害がある人と香南Jr.ヨットクラブ員のペアや、授産施設の職員と利用者のペア、健常者の夫婦など、障害のあるなしを越えて60人30組が初秋の海に出てレースを楽しみました。



▲海上でも安定して転覆の心配がない「ハンザクラス」



▲物部川流域のうまいものは来場者に大人気でした

**物** 第1回物部川流域フェスタ  
物部川の恵みをいただきま〜す♪

9月27日(日)吉川町天然色劇場で、南国市・香美市・香南市の「食」が一堂に会し「第1回物部川流域フェスタ」が開催されました。

香南市からはニラ塩焼きそばや鮎の塩焼き、香美市の鹿肉料理、南国市のシャモ料理など約20店舗が出店。ステージでは、バンド演奏をはじめ、こーにゃん体操や、南国市のキャラクター「ゴメンジャー」ショー、高知高専の生徒たちによる化学を使ったマジックショーなどが披露され、子どもたちは大喜び。秋空の下、家族連れなどで一日中にぎわいました。



▲戦争は身近なところに爪痕を残しています

**戦** 香南の基層を語るIV～戦後70年を考える 戦争の記憶と戦争遺跡～  
戦争の語り部から聞いておきたいこと

10月3日(土)野市中央公民館サンホールで、市文化財センター主催による「香南の基層を語るIV～戦後70年を考える 戦争の記憶と戦争遺跡～」が開催されました。

これは、香南市内でも身近に戦争があったことを通し、戦争の悲惨さと平和について考えるもので、市内に残る戦争遺跡や残留品などを紹介。また、夜須町の震洋隊事故や赤岡町での機雷爆発事故などを、当時実際に体験した語り部の皆さんが語ってくれました。参加者は、時とともに薄れていく「戦争の記憶」に聞き入っていました。



▲一斉にスタートする選手たち

**山** 第4回土佐塩の道トレイルランニングレース2015  
道を駆け抜けろ!

「美しい日本の歩きたくなる道500選」に選定されている「土佐塩の道」をコースに、10月4日(日)「第4回土佐塩の道トレイルランニングレース2015」が開催されました。コースは、香美市物部町山崎公園から香南市香我美町山北公民館までの約25km。アップダウンの激しい山道を182人のランナーが駆け抜けました。

アメリカなど外国や県内外からの参加があり、天気にも恵まれ、地元の方の声援に励まされながら無事全員がゴール。「キツかったけど、自然もいいし、また参加したい」などの声が聞かれました。



伝言板

**ご** 10月2日(金) 高齢介護課 ☎57-8510  
長寿をお祝いました

毎年、100歳を迎えられる方に、内閣総理大臣よりお祝い状と記念品が贈呈されています。

香南市では今年度の対象者は9人。清藤真司市長が自宅や施設を訪問し、長寿をお祝いました。皆さん笑顔でお話をされ、ご家族や施設の方々からもたくさんのお祝いの言葉がかけられました。

ご長寿の皆さまにおかれましては、お身体に気を付けて、いつまでもお元気にお過ごしいただきたいと願っています。



**太** 9月30日(水) 住宅管財課 ☎57-7536  
太陽光発電を公共施設で

株式会社ウエストエネルギーソリューション(広島市)と、「市有施設(屋根等)及び市有地における太陽光発電事業基本協定書」の調印を行いました。

これは、再生可能エネルギーの全量固定価格買取制度の実施に伴い、太陽光発電事業を行う事業者に市の公共施設の屋根の部分の有償で貸し出すもので、小中学校や公民館など12施設を貸し出します。



**下** 上下水道課 ☎57-8512  
下水道新技術が表彰されました

市・高知大学・高知県・前澤工業株式会社・日本下水道事業団が連携し、開発してきた下水道処理技術が国に認められ、このたび、国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」を受賞しました。

この技術は、産学官連携のプロジェクトとしてスタートしたもので「低コスト・省エネ」を可能とする効率的な下水道処理新技術の開発・実証を行い、汚水処理の最適化を実現。加えて、消費電力を削減できることが実証しました。

汚水流入量の変動などの課題解決と普及展開に取り組んだこの事例は、全国の地方公共団体のモデルケースになることが認められ、今回の受賞となりました。



**企** 10月14日(水) 商工水産課 ☎57-7520  
企業の発展をともに考える

香我美町内に立地する企業9社が加入し、行政と企業との交流や、会員同士の横のつながりをもつことを目的に設置された、「香南市香我美町立地企業交流会」の総会および定例会が開催されました。

企業から説明を求められた、ストレスチェック制度やマイナンバー制度などについて、国や県、市の担当部署より説明を行い、理解を求めました。

また、企業からは「防災行政無線の増設を」「BCP(業務継続計画)を策定するにあたって、行政と企業との連携が必要」など、今後の行政サービスを向上させるための貴重な意見が出されました。

